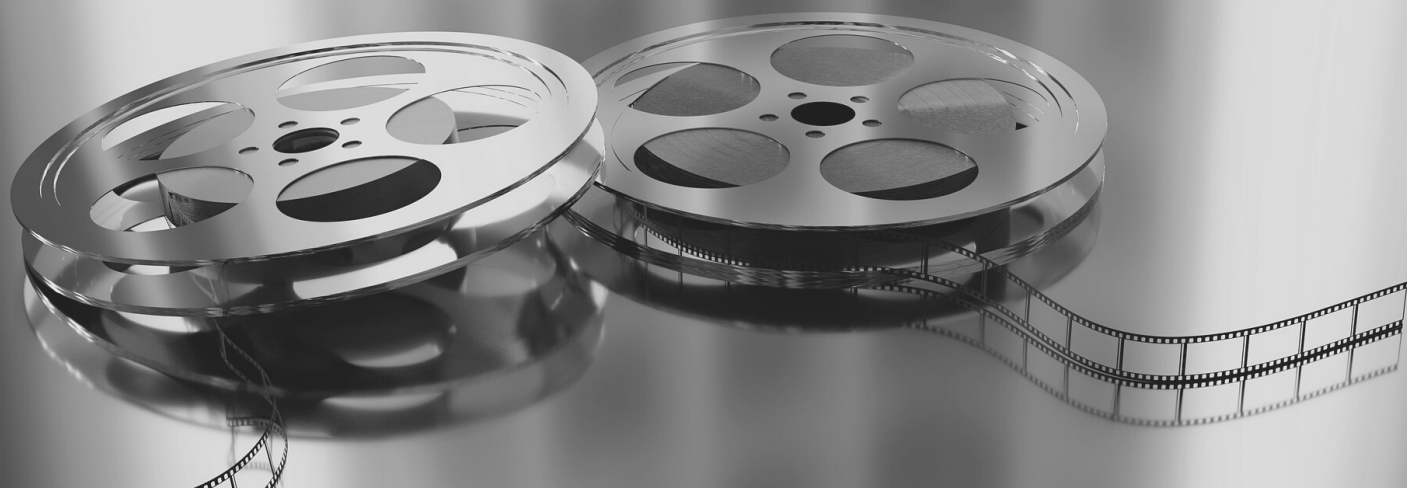


JAUW＜映画クラブ＞会報

# シネマ通信

第1号（2021年10月11日）



## Our Friend アワー・フレンド

第1回鑑賞作品

全米雑誌賞に輝く  
エッセーを映画化！  
心に響く感動の実話

監督：ガブリエラ・カウパースウェイト

脚本：ブラッド・イングルスビー

原作：マシュー・ティーク

キャスト

マット/ケイシー・アフレック、ニコル/ダコタ・ジョンソン、  
デイン/ジェイソン・シーゲル

ジャーナリストとして仕事に打ち込むマットと、その妻で  
舞台女優のニコルは、2人の幼い娘を育てながら充実した  
毎日を送っていた。しかし、ニコルが末期がんの宣告を受  
けた日からすべてが変わってしまう。妻の介護と子どもた  
ちの世話で、つぶされそうになるマット。そんな中、二人  
の親友デインが、遠くからやって来る。彼は、かつて人生  
に絶望した時に、二人から心を救われたのだ…



## About Them

監督は、ドキュメンタリー映画で高く評価され、英国アカデミー賞にもノミネートされた、ガブリエラ・カウパースウェット。日本ではまだ無名ですが、今後の活躍が期待されます。

マット役のケイシー・アフレックは、「マンチェスター・バイ・ザ・シー」で、アカデミー主演男優賞を獲得し、今、最も勢いのある俳優の一人。その妻ニコル役のダコタ・ジョンソンは、「フィフティ・シェイズ」シリーズの上品なエロティシズムで観客を魅了した若手人気女優。本作では、演劇に情熱を傾けながら、家族に深い愛をそそぐ女性の最後の日々を、見事に演じています。

ちなみに、ケイシー・アフレックの兄は、「グッド・ウイル・ハンティング」で世界的スターとなり、「アルゴ」では監督・主演を務め、アカデミー作品賞を獲得したベン・アフレック。一方、ダコタ・ジョンソンの父は、人気テレビシリーズ「特捜刑事マイアミバイス」のドン・シーゲル。母は「ワーキング・ガール」のメラニー・グリフィス。母方の祖母は、何と、我が世代なら知っている、ヒッチコック「鳥」のティッピー・ヘドレンと聞けば驚き！！

我が国の政界を、二世・三世が跋扈しているのは…？  
ですが、俳優や監督の血脈には興味をそそられるのは、筆者が“ミーハー”故でしょうか？



## About Something

世界中で愛される「ムーミン」の作者、トーベ・ヤンソンの伝記映画「トーベ」を見てきました。1914年、フィンランド・ヘルシンキで、彫刻家の父と、挿絵画家の母との間に生まれた少女は、幼い頃から画家を目指していました。しかし、第二次大戦中、防空壕で恐ろしさを紛らわすために、漫画を描いたのです。それが「ムーミン」。父との確執、愛、裏切り、自らの正直過ぎて傷つくトーベ。しかし、そんな中でも、「ムーミン」はその癒しのマジックで世界を包んでいきます。絵画、小説、舞台、ジャンルを超えて活躍したトーベの生涯は、まさに、生の喜びと苦悩が凝縮されたものでした。ほぼ満席だった映画館。鑑賞後の人々の熱気の中で、ふと、自身の生き方を問うてみた午後でした。

(新宿武蔵野館、文化村、ヒューマントラストシネマ有楽町で上映中)